

【春の大会後半戦を終えて…】

さあ、改めて結果をどう考えますか！

ゴールデンウィークが終わり、新しい週を迎えました。みなさんにとってここ数日間は、どんな時間だったでしょうか。

さて、春の県大会を目指して、たくさん部の活のみなさんが頑張ってくれました。少し紹介したいと思います。

先陣を切ったサッカー部はスプリングカップで三位となりました。宿敵南流山中に惜敗しましたが、市内大会でのリベンジに闘志を燃やしていることでしょう。

千葉県U15中学校選手権大会葛北予選で男子バスケットボール部が優勝、女子が三位となり、それぞれ県大会出場を決めました。

女子バレーボール部は東葛飾地方中学校バレーボール選手権大会で葛北以外のたくさんの学校が出場する中ベスト8になり、県大会出場の切符を手に入れました。

ソフトボール部も昨年に引き続き東葛地区中学生選抜大会Cブロック優勝を果たしました。バドミントン部は男子が春の県大会に個人戦で出場します。

陸上部でもたくさんの仲間たちが参加標準記録を突破し、短距離、長距離共に県大会へと

駒を進めました。

残念ながら全ての会場に応援に行くことはできなかったのですが、たくさん仲間たちがそれぞれの試合で頑張りを抜き、結果を出してくれました。これから始まる市内大会、葛北総体、県総体、そして関東・全国大会へ向けて、素晴らしいスタートを切ってくれたのではないかと思います。これからの更なる活躍に期待しています。

以前にも書いたのですが、中学生の試合というのは何が起るか最後まで分からないもの。私自身十年以上県大会で毎年のように審判をしていて、「えっ」と思う試合に何度となく出会いました。勿論それぞれの試合にはいろいろな要素があります。そこまでの選手たちのもつ経験が大きく違うこともある。ただ、全員が実力を一〇〇％発揮できるとは限らな

いのです。時には、その時の技術より、選手たちの気力が勝ることがある。そんな、最後まで結果が分からないからこそ、中学生の試合には自分たちの三年間の思いをかける価値があるように思います。

試合は勝負事ですから、必ず勝ち負けという結果がついてきます。今回の春の大会も、結果はそれぞれでした。ただ、その後のみんな自身の練習への取り組み方がどうだったのか、それが次の結果に大きく影響してくるものなのです。ちよつとした事がきっかけでガタガタと崩れていってしまう試合をよく目にします。いろいろな不安があつて当然ですから、何かのきっかけでそれが前面に出てしまうことがある。でも、そんな時でも大切なのは「絶対に勝つ」という強い気持ちを持つことです。そこで弱気になっていては、勝てる試合も逃してしまうことになりかねません。それは勉強でも同じことが言えるのです。みんな同じように不安なもの。でも、それに勝る強い気持ちを持つことができる人だけが、納得のいく結果を得ることができる、そんな気がしています。

みなさんには目標があるはずです。勉強でも部活動でも、そんな自分の目標を叶えるために、どれだけ強い気持ちを持つことができるか、成功の鍵はここにあるように思います。

頑張れ南中生！納得のいく結果を目指して、Fight!!

